

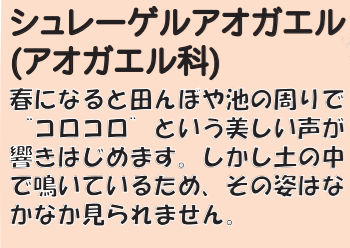
# みごろの花&生きもの 散策コースマップ 2025

5月中旬～6月中旬

--- 季節のおすすめ散策コース (ゆっくり歩いて1時間)  
- - - おてがるコース (ゆっくり歩いて30分)



**トノサマガエル(アカガエル科)**  
緑に黒い斑点模様が特徴的なカエル。田んぼに水が張られる頃、繁殖期を迎えます。



**シュレーゲルアオガエル(アオガエル科)**  
春になると田んぼや池の周りで「コロコロ」という美しい声が響きはじめます。しかし土の中で鳴いているため、その姿はなかなか見られません。



**ミヤマカラスアゲハ(アゲハチョウ科)**  
光を反射して青く光って見える、里山を代表する美しいアゲハチョウです。



**ホトギス(ホトギス科)**  
鳴き声ユニークで、昔から「東京特許許可局」とか「テッペンカケタカ」などと表現されます。田植えの頃に鳴きはじめます。



**クリ(ブナ科)**  
クリの花は、独特のにおいを辺りにたどらせて、虫たちを呼びます。



**カキノキ(カキノキ科)**  
歩いていると見過ごしてしまいそうな花ですが、よく見るとほんのりクリーム色をしています。



**ウツギ(アジサイ科)**  
山野の川沿いや林縁で白い花を咲かせます。別名「ウノハナ」とも。「卯の花の匂う垣根に」と唱歌にも歌われています。



**オカラノオ(サクラソウ科)**  
小さな白い花が集まってできた花穂が、トラの尾っぽを思わせる、かわいらしい花。



**ササユリ(ユリ科)**  
葉っぱがササにそっくりなユリ。地域によって花の色が少しずつ違って、白色～濃いピンク色の可憐な花を咲かせます。



**チガヤ(イネ科)**  
日本全国の明るい草地に生育します。花のあと、白いふわふわの綿毛とともに果実が飛んでいきます。



**コウゾリナ(キク科)**  
花はタンホホに似ていますが、葉や茎をさわるとゲゲゲクククしています。



**ノアザミ(キク科)**  
赤紫色の花が目立ちます。昆虫たちが蜜を吸いにくる姿もよく見られます。



**ホタルブクロ(キキョウ科)**  
その昔、ホタルを入れて提灯にして遊んだことからこの名がついたそう。



**クララ(マメ科)**  
この草の根をかむと、くらくらするほど苦い、ということが名前の由来です。古くから薬として利用されてきました。



**ウメ(実)(バラ科)**  
ウメの果実は、梅干しや果実酒、シロップ漬けなど、さまざまな楽しみ方があります。里山の重要な果実のひとつです。



**ドクダミ(ドクダミ科)**  
ちぎると独特のにおいがしますが、乾かすと臭みが消えておいしいドクダミ茶になります。



**木見川散策路 ~緑陰の散策~**  
樹木の葉が初夏の日差しをかわし、心地の良い涼しげな散策ができます。

木陰を歩けるスポット